

漢方 婦人科 産科  
浮田医院  
だより



第 8 号

発行所：産科 婦人科 漢方  
浮田医院  
〒520-1214  
滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28  
TEL 0740-32-3751  
FAX 0740-32-3795  
発行日：平成10年8月5日(水)  
発行者：浮田 徹也

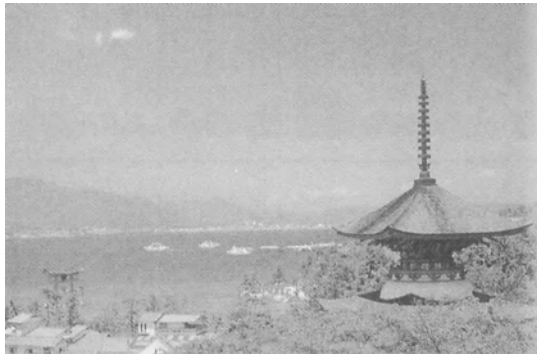


漢方薬のよさ (8)

水毒 (水ぶとり) II



暑さ厳しいこの頃ですが、温度の高さだけでなく、湿度の高さが、私達の体を疲れさせ、特に、胃腸の働きを低下させ、体に余分な水分が溜まりやすくなります。こんな時、ニチニチソウの赤や白の花、大きなひまわりの花、朝顔の涼しげな姿などを見ると、これらの花から「活力」を与えられます。胃腸が弱り気力が低下(気虚)すると、気もふさぎやすく(気鬱)なります。昔から、この時期、花火大会、夏祭り、盆踊り、肝だめし・・・などの催しを、人々は鬱滞した気を吹き飛ばすためにしています。このような「気晴らし」「憂さ晴らし」も、胃腸の働きを低下させないために大切なことです。



本蓮寺(牛窓)境内から三重塔と瀬戸内海を望む

「水毒」は、体に余分な水分が溜まった状態ですが、生れつきの体質と食事や環境による場合があります。特に、私達が水分を求める季節は、寒い冬から暖かい春にさしかかる「春先」と「暑い夏」です。

「春先」は、三月終わり頃から、次第に「湿度や温度」が高くなり、気持ちも反って「憂うつ」になることがあります。特に、「水毒」のある人は、その傾向が強く、「体がだるく」「なり」「めまいや立ちくらみ」に苦しみ、「動悸や息切れ」を自覚し始め、坂道がしんどくなってきました。このような場合、漢方薬で「水毒」や「気鬱」を除くと、症状がスーッとなくなっ てしまいます。

「暑い夏」は、殊に湿気が多く、「水毒」が顕著になり、顔がどことなくふくれ、疲れた「疲れた」、仕事をやる気も少ない、「口が乾き水分が欲しい」「食べたくない」「手足がほてる」「汗がジワジワ出てくる」「体中があちこち痛い」・・・などの症状が出てきます。いわゆる「夏まけ」で、「胃腸の弱り」「(脾虚)と」「水毒」と「鬱熱」の症状で、漢方薬で、「脾虚」と「水毒」と「鬱熱」の治療をすれば、元気を取り戻すことができます。「夏まけ」を起こすと、「慢性肝炎」や「アト





ピー性皮膚炎などの病気は悪化してしまいます。

「アトピー性皮膚炎」の場合、体質的に皮膚を守るバリアー機構が障害され、汗腺の働きが悪くなり、皮（皮膚の表面の浅い部分）の水分が蒸発できず、皮（肌）（皮の下の皮膚の深い部分）の水分の流通が障害されています。ですから、皮膚がジクジクし、かゆみや炎症が起きてきます。皮膚の表面がカサカサしているも、肌には余分な水分が溜まり、熱がこもっていることも多く、利水や清熱作用のある漢方薬を上手に使用して、余った水分を排除したり、熱を冷ますことが大切です。こんな場合、肝臓や皮膚症状にだけとらわれず、脾虚と水毒と鬱熱の治療も必要になってきます。

その他、鼻粘膜の水毒はアレルギー性鼻炎、肺や気管支の水毒は気管支喘息、関節の水毒は関節リウマチを引き起します。水毒のみ治療すれば、このような病気がすべて改善するとは限りませんが、湿度の高い日本の場合、水毒のことをいつも頭に

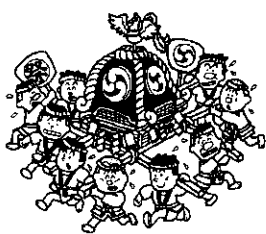
おいて生活し、食事を摂ることが大切です。

夏に夏まけした影響は、早い方では九月に、遅い方では秋冬に出てきます。例えば、九月になって、めまい、ムカムカ、疲労感が出てきたり、アレルギー性鼻炎がひどくなる方もおられるのではありませんか？ 秋に冬にかけて、口唇、手足・がカサカサし始め、肌荒れが気にかかる方、風邪を頻繁にひいてしまう方もおられるのではありませんか？

このような方々は、この夏をいかに上手に乗り切るのがポイントになります。

平生から、余分な水分を体に溜めないよう、つね日頃から、汗をよくかくよう体を動かし、水分、糖分、塩分を摂りすぎないように心がけたいものです。

〔院長〕



## 骨粗鬆症の心配な方へ

私たちの骨は20歳代までに完成し、「骨量」は、成長期のカルシウムや蛋白質の摂り方や運動の仕方に左右されます。女性では閉経期以後（およそ50歳以後）、急速に骨量が減少し、骨粗鬆症にかかりやすくなります。男性でも50歳代を過ぎるころから、骨量が徐々に減少してきます。食物から吸収されたカルシウムの99%は骨に取り込まれ、リン酸と結びつきヒドロキシアパタイトとなり、コラーゲンと共に骨を作っていきます。骨を建物（ビル）とすると、繊維状の蛋白質であるコラーゲンは鉄骨、ヒドロキシアパタイトはコンクリートにたとえられます。このヒドロキシアパタイトの密度が骨量（骨塩量、骨密度）で、基準となる骨量の数値は年齢別に決まっていますから、骨量を測れば、骨粗鬆症の発見に役立ちます。

当院の骨量の測定は、X線の吸収を利用する方法（DEXA）で、測定時間は、わずかに1分、しかも、その場で、結果の用紙をお渡しいたします。女性の場合、分娩後1回、40歳代に2～3回、閉経後は年2回、男性の場合、50歳代以後に年1回を目安にすると安心です。

骨量の低い方の治療（漢方薬あるいは西洋薬）もいたします。



### 当院の漢方治療のお知らせ



#### 劑型について

- ・エキス漢方：エキス顆粒の漢方薬（大部分“粉薬”、一部錠剤）。携帯に便利です。
- ・煎じ薬：お茶の様に煮て作ります。必要な生薬を組合せて“漢方薬”を作ります。

当院のエキス漢方は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも、湿める場合、冷蔵庫で保管して下さい。漢方薬が湿りやすい場合、当院の“漢方専用容器”（無料）をご利用下さい。

#### 適応症について

- ・すべての疾患に適応できます。“疲れ、食欲不振、便秘、排尿障害、むくみ、痛み、冷え、ほてり、動悸などのない体”を取り戻して下さい。
- ・漢方薬のよく効く疾患  
アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、接触性皮膚炎、帯状疱疹後神経痛、便秘、子宮内膜症、生理痛、更年期障害、冷え症、低血圧症、下痢、風邪、肥満、クーラー病、夏ばて、慢性膀胱炎、過敏性大腸炎、神経痛、膝関節症、前立腺肥大、頭痛、切迫流産、切迫早産、妊娠中毒、慢性肝炎、慢性疲労、めまい、肩凝り、虚弱児、慢性中耳炎、慢性副鼻腔炎、慢性扁桃腺炎
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患  
高血圧症、喘息、アレルギー性鼻炎、関節リウマチ、腎炎、糖尿病、骨粗鬆症、痔、肝硬変、肝臓癌、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用時倦怠感・・・・・・・・

#### エキス漢方と煎じ薬について

- ・軽症の病気：漢方製剤（エキス顆粒）を組合せて治療します。
- ・中程度の病気：漢方製剤と単味の生薬エキス顆粒を組合せて治療します。
- ・重症の病気やエキス顆粒無効の場合  
煎じ薬を使います。より細やかに治療できますので、治療効果も優れています。オーダーメイド漢方ですから、エキス漢方と比べ、より優れた効果が発揮されます。

女性の方に限らず、男性の方や子供の方もご相談下さい。

問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診断法（四診）や検査（超音波、血液、尿、便、心電図、骨塩量測定・・・・・・・・）などを利用して、“漢方薬”の決定をします。

#### 入院食のお知らせ

厨房のスタッフが心をこめてお作りします。皆様方に安心して食べていただけるよう、塩分、糖分、カロリーに気をつけ、素材は十分に吟味し、薬膳料理も取り入れています。

#### 院長の講演会のお知らせ

9月17日(木)：“動悸の漢方治療”（医師、薬剤師）  
第38回滋賀漢方懇話会（大津市－滋賀県）  
10月17日(土)：“漢方薬のすばらしさ（1）”  
（一般の方）（院内）

#### 駐車場のお知らせ

- ・北駐車場（日曜・祭日・祝日：終日閉鎖）  
月・水・金：午前8:30～夕方診終了まで  
火・木・土：午前8:30～午前診終了まで
- ・東、南駐車場：終日駐車可能

#### レシート及び領収書の保管

レシート及び領収書の再発行はいたしません。大切に保管して下さい。

#### “処置診”のお知らせ

処置、検査、点滴、針の“待ち時間”を少なくして欲しいという声にお答えしています。

#### 皮内針のお知らせ

針の長さは1～2mmで、刺す時の痛みはありません。お気軽にご相談下さい。  
〔適応〕肩凝り、腰痛、神経痛、筋肉痛・・・

#### 院長－漢方外来（出張）のお知らせ

岡山及び広島方面の皆様のご要望により、下記のように診療いたします。  
8月14日(金)～8月16日(日)（時間は未定）  
岡山市島田9-2（郁玖栄建設：中条勝凱様方）  
☎ 086-244-8401(8454)  
診療時間内にお電話で予約してください。  
☎ 0740-32-3751

#### 休診のお知らせ

8月14日(金)～16日(日)の間、外来は休診いたします。ただし、急患の方、お産の方は、この限りではありません。

**母親教室（前中期）のお知らせ**

日時：8月11日(火)、10月13日(火)、12月8日(火)  
 対象：妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)  
 場所：当院1階  
 予定：薬と病気(院長) 午後1:30~1:55  
 軽体操(助産婦・看護婦) 午後2:00~2:15  
 食事と栄養(栄養士) 午後2:20~2:45  
 ティータイム 午後2:50~3:05  
 妊娠生活(助産婦) 午後3:05~3:30

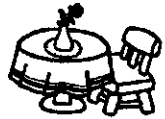
**母親教室（後期）のお知らせ**

日時：8月18日(火)、9月8日(火)、22日(火)、10月27日(火)  
 対象：妊娠8~10ヶ月の方(定員5名)(無料)  
 場所：当院1階  
 予定：入院時期と準備 午後1:30~1:50  
 分娩の経過 午後2:00~2:25  
 ラマーズ法教室 午後2:30~2:55  
 ティータイム 午後3:00~3:15  
 病棟案内 午後3:20~3:25  
 記念撮影(後日お渡し) 午後3:25~3:30

お気軽にご参加下さい。ご主人も一緒に参加されませんか？  
 皆様方のご希望に答えて、後期母親教室の回数をできるだけ月2回にいたします。  
 申し込み方法：申し込みノートにご予約ください。

**母親教室（前中期・後期）ティータイムのお知らせ**

青空に浮かぶ白い入道雲が、夏の訪れを告げてくれます。太陽の輝きと同じくらいカラフルなお菓子をお届けします。パンは、パイナップルとココナツが入った「パイナップルブレッド」です。ケーキは、ベーターカロチンの豊富な「にんじん」と「りんごのムース」と「ゼリー」の組合せです。暑い暑い夏の日、みんなでリフレッシュしましょう。



**外 来 診 療 時 間**

	月	火	水	木	金	土	日
午前	一般外来	妊婦外来	漢方外来	漢方外来	妊婦外来	一般外来	—
夕方	更年期外来	—	不妊外来	—	漢方外来	—	—

午前の診療(月~土)：午前9:00~正午 夕方の診療：午後5:30~午後7:30  
 火曜日の午前診療：午前11:00~正午:産後検診(新生児、母親)、乳児検診を優先いたしますので、ご了承下さい。  
 水曜日の夕方診療：妊娠中の方の定期健診はご遠慮下さい。急患の場合は、この限りではありません。  
 漢方外来・一般外来：男性の方、女性の方、子供、どなたでもお越し下さい。

**第4回妊婦の方のための料理教室**

日付：平成10年10月2日(金) 時間：午前10時~午後2時  
 対象：妊娠中の方(無料) 献立：ミニフランス料理  
 場所：安曇川町世代交流センター  
 安曇川町南船木249(☎0740-34-1320)  
 持ち物：エプロン・タオル・筆記用具(定員10名)  
 申込：8月17日(月)~9月30日(水)に、受付までお申出下さい。

**赤ちゃん健診(2と3カ月)のお知らせ**

赤ちゃんの2カ月健診、3カ月健診もしています。  
 日時：毎週火曜日、午前11時~正午(2000円)

**産後の集いのお知らせ**

皆様方の声をもとに、産後1~3カ月のお母さんと赤ちゃんを対象に「集い」を開いています。  
 「かわいいお菓子」もお楽しみ下さい。  
 日付：6月23日(火) 7月7日、7月21日(火)  
 8月4日(火)  
 時間：午前11:00~午後12:30 浮田医院(無料)  
 申込：申込ノートにご予約下さい 定員：5名

**看護婦・助産婦・看護補助婦の募集のお知らせ**

看護婦、助産婦、看護補助の方で、常勤あるいはパート勤務できる方、ご連絡下さい。  
 面接：随時、各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給

**赤ちゃんのビデオ撮影のお知らせ**

皆様方のご希望により、院長の説明とバックミュージックが入ります。